

# 関西詩人協会会報

第93号  
2019.4.1  
発行者 左子真由美

- ①「関西詩人協会自選詩集」(設立25周年記念誌)第9集作品募集
- ②関西詩人協会 文学散歩 折口信夫『死者の書』の舞台 當麻寺を訪ねて
- ③会員が作る詩話会2019/第28回 関西詩人協会詩画展/二〇一九年度・イベント
- ④兵庫県現代詩協会と共催する行事の骨子が決まる/朗読文化の会「あい」 第二期募集/入会/退会
- ⑤新入会員の作品/ホームページ報告/会員の活動
- ⑥日本国際詩人協会設立7周年記念国際詩祭開催/運営委員会の模様/今後の予定
- ⑦釣部与志氏を悼む/追悼佐古祐二さん
- ⑧会員の書籍/会員発行の詩誌/団体の会報・図書

## 『関西詩人協会自選詩集』第9集 (設立25周年記念誌) 作品募集

『自選詩集』第8集から三年が経過します。その間に新しい会員の方々をたくさんお迎えすることができました。会員の相互の親睦を深めて、ますます発展していかなければなりません。

この三年間に書かれた作品の中から自信作を一篇応募してください。もちろん、新作でも結構です。規定をよく読んで期日までにお送り下さい。不明の点がありましたら編集委員までおたずねください。今回は滯標に制作をお願いすることになりました。

関西詩人協会の各部の五年を振り返る

各担当責任者

現代詩の現状と展望 (対談)

山田兼士・高階紀一

あとがき 編集委員

○体裁

1人1篇、見開き2頁、1段組

(原稿規定)

本文30字×36行まで (タイトル、筆名は別)

未発表、既発表は問わない

A4サイズの用紙を使用して下さい (メール可)

○略歴

筆名のひらがな読み

当会以外の所属団体、詩誌など (合計3つまで)

既刊詩書

(詩集、評論集など明記の上、合計3冊まで)

○校正

筆者自身の校正一回

(あとは編集委員にお任せ下さい)

○しめきり

2019年6月10日必着・厳守 (郵送)

○送付先 吉田定一

〒592-0014

大阪府高石市綾園1-9-11810

○参加費用 9000円

振込みは「自選詩集」と明記して会の郵便口座にご送金ください。

01010-8-84447 関西詩人協会

○参加者には、詩集2冊を配布

参加者の追加注文は定価の80% (送料込) でお受けします。

○送稿の際は封筒に「自選詩集作品在中」と明記

データのあたる方は別途、滯標・松村信人 [masumura@miotsukushi.co.jp](mailto:masumura@miotsukushi.co.jp)宛にご送付ください。ただし、

その場合もプリント原稿を必ず右記宛にお送り下さい。

い。

(編集委員)

吉田定一・松村信人・市原礼子

### 【募集要領】

(詩集の体裁)

○上製本 (ハードカバー)

○(株) 滯標より2019年11月発行

(発行日は12月1日)

○ご挨拶 左子真由美

25周年に想う 永井ますみ

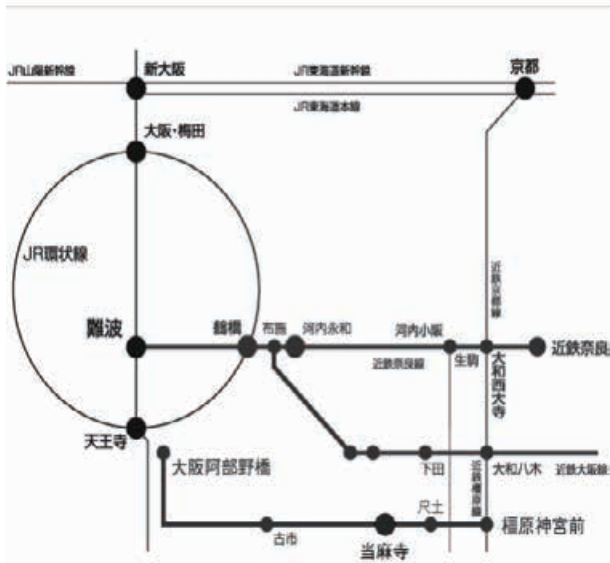
関西詩人協会設立25周年を顧みて 編集委員

# 関西詩人協会文学散歩

## 折口信夫『死者の書』の舞台

### 当麻寺を訪ねて

電車でお越しの方へ



日時 2019年5月11日

葛城市相撲会館前で午前10時20分集合

場所 当麻寺→石光寺→ふたかみパーク道の駅→

二上神社口→解散(全行程で3キロ足らずです。昼食・休憩入り)

費用 拝観料(三ヶ処と当麻曼茶羅絵解き・天井

絵解説) + 精進料理 3200円

交通費は各自負担

当麻寺創建時の本尊は弥勒仏(金堂)ですが、現在信仰の中心となっているのは当麻曼茶羅(本堂)です。今回は折口信夫の『死者の書』の舞台となった、当麻寺辺りを歩きたいと思います。

折口信夫は、ご存知のように国文学者であり民俗学者であり又、歌人としては釈迢空として活躍しました。当麻寺の曼茶羅を織ったのが中将姫という伝説をもとに想像の翼を拡げて『死者の書』という小説に仕立てたのです。

折口信夫を駆り立てた当麻曼茶羅を拝見し、この寺辺りを訪れた文人たちの歌碑を巡り、折口信夫ゆかりの中之坊で昼食を摂り、有志による朗読を聴きながら万葉の昔まで散歩したいと思いますどうぞ、お友達と誘いあって、ご参加下さい。

大阪方面は次の電車が便利です。

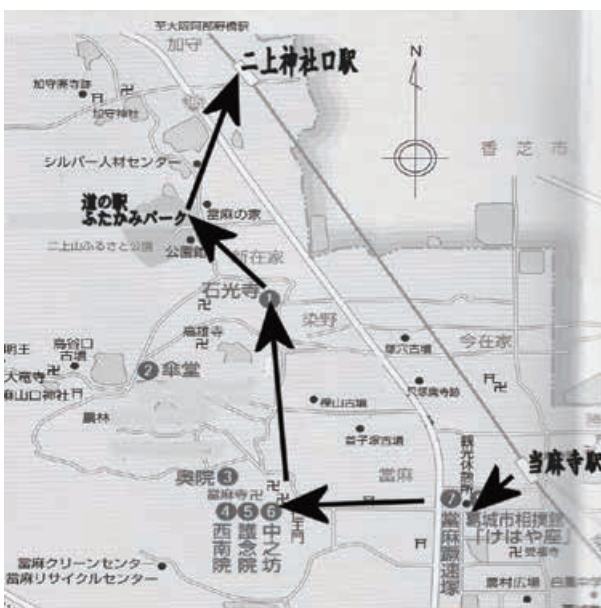
○近鉄南大阪線

阿部野橋駅9時24分発：当麻寺駅10時02分着

道路は全て舗装しており、坂道は緩く歩き易いです。4月～5月はどのお寺も牡丹の花盛り。

参加の方は、会報に同封した葉書で申し込んでください。

又、朗読をしてみようと思われる方は会員ならどなたでも結構ですので、これも葉書で申し込んで下さい。今回は言葉遣いが難しいので二回ぐらいは練習せねばと思っております。



## 会員が作る詩話会2019

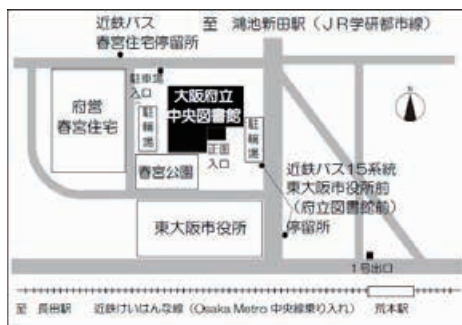
日時 2019年6月2日(日曜日)1時30分開場)

場所 大阪府立図書館大会議室

詩画展会場と同じ場所です

資料代 500円

こつそり詩を書いて  
こつそり詩を発表して  
いては誰も読んでくれ  
ないし、共感も得られ  
ません。関西詩人協会  
では、それぞれの方が  
何をどう考えて書いて  
いるのかという事を、  
各自が話せるようにな  
って頂きたいと思っ  
ています。既に名を馳せ  
て、あちこちで講演を  
している方ではなく、こ  
つそり  
と書いている方にです。



今回も昨年に引き続きPPP (Poem (詩) と Picture (絵) と Photo (写真)) に関するショートメッ  
セージを中心に、文学散歩で披露した折口信夫の『死  
者の書(抄)』と、会員の皆さまの自作詩朗読を発表  
する場にしたと思います。

○プログラム

ショートメッセージ一人10分

『死者の書』朗読と解説

自作詩朗読 一人3分 合計50分くらい

○今回出品の絵とご自身の詩に対する考えや、その絵  
や写真を選んだ動機などでも良いです。

○先回釣部さんがプロジェクターを使ってされたよう  
な【映像詩】も可能なので検討ください。画像等用  
意されたら永井が相談に乗ります。

○同封の葉書で申し込んでください。

### 第28回 関西詩人協会詩画展

#### —多彩な詩とユラボするアート

期間 2019年5月21日(火)～6月2日(日)

平日9～19時 土日祝休日9～17時

休館日 5月27日(月)

場所 大阪府立中央図書館/メトロ中央線荒本駅

06-6745-0170

展示場所を変更しました

主催 関西詩人協会 大阪府立中央図書館

展示作品

・関西詩人協会会員の作品(題名と詩をつける) 詩

と絵画、書、写真などの平面構成

・額装、パネル貼などで横各80cm以内の規格で一人一

点以内

搬入・搬出

・搬入は5月21日(火)10時 展示前に作品の写真撮影

・ご自分で搬入が出来ない場合は5月20日午後配達指

定で、大阪府立図書館・生涯教育担当様宛(〒57

7-0011 東大阪市荒本北1-2-1) に送っ

て下さい。

・搬出は6月2日 17時 各自で撤去して下さい。宅送

希望の方は着払宅送伝票を記入の上添付して下さい。  
他展示 近刊詩集、詩誌を会場机展示

アクセス 梅田、難波から約30分。荒本駅(近鉄けい  
はん線またはメトロ中央線)1番出口から北西へ  
約400m

問合せ

TEL/FAX

吉田定一 072-264-8443

和比古 0798-72-9308

田村照視 075-314-6449

E-mail refrancyo@yahoo.co.jp

hirao@chem.eng.osaka-u.ac.jp

z66363@yahoo.co.jp

### 二〇一九年度・イベント

今年は関西詩人協会創立25年にあたりますので「関  
西詩人協会・創立25周年のつどい」と致します。

日頃、広く詩人の創作や詩運動の動きを熟知してお  
られる、山田兼士氏と高階杞一氏による「現代詩の現  
状と展望」をテーマとした対談を予定しています。な  
お、従来通りの演奏や会員による朗読を行います。

開催日 9月8日(日)

会場 ドーンセンター(仮)

会費 1000円

(詳しくは次号の会報でチラシや参加申し込みハガ  
キを同封させて頂きます。)